

## 結核集団感染事例について

### 1 概要

筑紫保健福祉環境事務所に届出があった肺結核患者の接触者について、疫学調査及び健康診断等を実施したところ、結核の集団感染（※1）が確認されたことから、お知らせします。

### 2 初発患者

(1) 年齢等 90歳代、女性、那珂川市在住（高齢者福祉施設入所中）

#### (2) 臨床経過

令和4年 1月下旬 微熱が出現。  
 2月3日 A 医療機関を受診し、胸部 CT 検査にて結核を疑われる。  
 2月5日 検査の結果、塗抹検査（±）及び PCR 検査陽性が判明し、肺結核と診断。  
 2月8日 筑紫保健福祉環境事務所に結核患者としての届出があり、B 医療機関に入院。

### 3 接触者の状況

当該施設職員及び利用者77名を対象に、3月下旬から順次、健康診断等を実施。

### 4 患者の概要

令和4年9月22日現在、初発患者を含め、結核患者4名、感染者20名を確認。患者のうち、1名が入院中。

	年代	男性	女性	計
初発患者	90歳代		1	1
患者	90歳代	1		3
	80歳代		1	
	60歳代		1	
感染者数	90歳代	1	5	20
	80歳代	2	3	
	70歳代		2	
	60歳代		3	
	50歳代	1		
	40歳代	1	2	

### 5 今後の対応

患者及び感染者に対し、服薬治療の継続を支援するとともに、定期的に健康状態を確認し、健康管理の指導を行う。

#### <備考>

※1 同一の感染源が、2家族以上にまたがり、かつ感染者が20人以上発生した場合をいう。発病者1人を6人の感染者に相当するとして感染者数を計算する。

なお、感染者とは、血液検査の結果、結核菌に感染していると判断されるが、発病に至っていない者。

### 【特記事項】

発病者、感染者及び接触者等の個人情報については、プライバシー保護の観点から、資料提供の範囲内での報道をお願いいたします。

### 【県民の皆様へのお願い】

結核の初期症状は「かぜ」に似ています。咳や熱が2週間以上続くときは、医療機関を受診しましょう。

早期に発見できれば、まわりの方への感染を防げます。

- 結核は、「結核菌」という細菌により感染します。
  - 結核を発病し、たんの中に結核菌が出ている患者さんが、咳やくしゃみをするすることで、しぶきに含まれる結核菌が空気中に飛び散り、それを他の人が吸い込むことで感染します。
- 結核における「感染」と「発病」。
  - 結核菌を吸い込んでも必ず感染するわけではありません。多くの場合、体の抵抗力により追い出されます。また、感染しても、ほとんどの場合、免疫によって結核菌が封じ込められるため、一生発病しません。感染だけでは、人にうつす心配はありません。
  - 発病とは、感染した後、結核菌が活動し始めて菌が増え、肺などの体の組織を冒してゆくことです。感染者のうち、約1割が発病すると言われています。また、発病者の8割は、感染してから2年以内に発病すると言われています。
  - 結核菌が増えていく理由はよくわかっていませんが、抵抗力が弱っている高齢者、過労、栄養不良等の方では、結核菌が活動しやすく発病しやすいと考えられています。
- 「感染」や「発病」は検査でわかります。
  - 結核に感染しているかどうかは、血液検査やツベルクリン検査でわかります。また、結核を発病しているかどうかは、胸部エックス線検査等で診断します。
  - 結核の主な症状は、咳、たん、発熱などの呼吸器症状ですが、発病初期は、かぜとよく似ていて、見逃されることがあります。2週間以上、咳やたんが続くようなら、結核を疑って早めに医療機関を受診することが大切です。
- 結核は薬を飲めば治ります。
  - 現在、結核は、よく効く薬が開発され、3～4種類の薬を6か月から12か月の間、確実に服薬すれば治る病気です。しかし、治療が遅れて重症化すると死亡することもあります。